

Title	理財学会会報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1924
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.18, No.6 (1924. 6) ,p.909(145)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19240601-0145

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

以上は一八六〇年四月二十日バブリック・イン
 ステイチューションズの委員會上のラスキンの陳
 述中で殊にサア・ロバート・ピールとの論争點を
 特に示したのである。本稿の目的は既に記せる
 如くラスキンが如何に表面的労働者改善策に不
 信を表せるに到れるかを示すと共に又是等問題
 に對する當時の支配階級の態度を一面なりとも
 窺はんとすんにある。委員會はラスキンを招け
 る事によつてその目的に添ふ所少なかつたであ
 らう、蓋しいづれにその責任があるにせよこの
 エヰィデンスの大半は所期の目的を外れた質問
 であり答辯であつた様に思はれる。唯表面的政
 策に不満を懐けるラスキンが愈々社會の根本を
 動かすべき喚聲をはなたんとするに到れる數ヶ
 月以前の此の陳述は、中に社會改造論者として
 の彼の眞面目を窺はしむると共に一朝にして十
 數年に互つて築き上げし彼の名聲を墮さめしか

の小著「アン・ツォ・ジス・ラスト」が如何に當時
 の世論に容れられざりしかを委員會上の委員の
 所言に徴して豫見せしめるのである。ラスキン
 の經濟論は自由主義全盛の時代誠に極端なる妄
 語であつた。が此の委員會上のラスキンはその
 妄語に於いて「アン・ツォ・ジス・ラスト」の著者
 として充分にその姿を現はしてゐるのである。

(一三・六・三稿)

雜 報

理財學會々報 五月二十八日午後一時半より大
 ホールに於て、理財學會春季大會を催す。講演
 左の如し。

經濟活動の拘束性の解除と

經濟社會の擴大

英國歴史派經濟學

經濟心の倫理

社會科學の人生價值

聽講者七百餘五時半閉會す。

向井 鹿松氏

高橋誠一郎氏

長谷川如是閑氏

大山 郁夫氏

萬來舎に於て晚餐會を開き、長谷川氏及び高
 橋教授出席、歡談數刻八時半に及びて散會す。
 出席幹事 三年、夏目、永田。二年、檜原、
 濱谷、鈴木、和田、後藤。一年、寺本、武井
 野村。